

■ グループ紹介

三菱電線工業株式会社

1. 沿革

当社は、1907年創業以来、電線・ケーブルの製造、販売を中心に技術開発、販路の拡大に取組み、わが国を代表する総合電線メーカーとしての地歩を固めてきました。

現在では送配電用の電力ケーブル、光ファイバを含む通信・高周波ケーブル、絶縁電線、マグネットワイヤ等あらゆる種類の電線・ケーブルの他、情報通信機器、光ファイバ関連製品、各種自動車部品、航空機用リング等のシール製品、さらには不動産業等、電線以外の分野へも積極的に進出し、1988年度では売上高約1,300億円、経常利益約50億円の規模となっております。

また、1986年7月には、企業イメージの向上を図るため、大日本電線株式会社から三菱電線工業株式会社に社名を変更致しました。

2. 事業内容

当社では、本業である電線・ケーブルの他に、長年に亘って電線・ケーブルを中心として培ってきた技術、営業力をベースとして、事業の多角化に取り組んでいます。現在、下記の5事業部制をしいており、各事業部の主要事業・製品は次の通りです。

電力事業部：高圧送配電ケーブルおよび付属品、ケーブル布設工事および工事用機器、計測器。

電線事業部：絶縁電線、電子ワイヤー、巻線、複合金属線、電線・ケーブル用付属品。

情報通信事業部：メタル通信ケーブル、光ファイバケーブルおよび光ファイバ関連製品、LANシステム用ケーブル・機器、高周波ケーブル。

機器部品事業部：リング等のシール、樹脂製品、ワイヤリングハーネス・ガスケット等の自動車部品、ロードヒーティング等のヒーティング製品。

不動産事業部：ショッピングセンター「ルフロン」(JR東日本、川崎駅前)の経営。

3. 現況

資本金 146億46百万円 (平成元年10月現在)

従業員 2,150名 (")

本社 東京都千代田区丸の内3-4-1

大阪事務所 大阪市北区梅田1-12-17

支店・営業所 10 (九州、中部、東北、北海道等)

製作所 4 (尼崎、伊丹、箕島、熊谷)

4. 研究開発

当社の研究開発は、主に下記の部門で行われています。

(1)中央研究所

基盤技術の育成・強化を図るために設立されました。技術本部に所属するこの研究所では、高温超電導をはじめ、次世代を見据えた新素材やオプトエレクトロニクスの分野での基礎研究ならびに電線材料に関する研究開発を行っています。

(2)電力研究開発部

電力事業部に所属し、電力ケーブルおよび付属品の開発をはじめ超高压ケーブル、送配電ケーブルの保守システム等の開発を行っています。

(3)電子通信研究部

情報通信事業部に所属し、各種の光ファイバ、LAN用機器、光計測、工業用および医療用ファイバースコープ等の光ファイバ応用製品の開発を行っています。

これら以外にも、各事業部には直属する技術開発部門があり、所属事業部取扱製品の改良、および新製品の開発を行っています。

また、既存事業部に属さない新規事業分野については、新規事業開発本部が開発、企業化を担っています。

所在地：〒100 東京都千代田区丸の内3-4-1

(文責：企画管理部主席部員 吉田 強)